



社会福祉法人 恩賜財団

4月号

# 愛知県同胞援護会だより

第225号

平成19年4月15日発行



とよた苑の利用者さんが野見山南公園へお花見に出かけました。  
ピンク色の桜と青空の下で。

## 目次

春日井・豊田グループ……………P.2~3	とよた苑……………P.10~12
春緑苑……………P.4~6	若草苑……………P.13
第2春緑苑……………P.7~8	サンホーム豊田……………P.14
春日苑……………P.9	春日井・豊田グループ……………P.15~16

法人事務局

〒487-0031 愛知県春日井市廻間町703-1 TEL 0568-88-8302 FAX 0568-88-0306  
URL <http://www.mc.ccnw.ne.jp/aichi-douen/>  
e-mail: [douen@mc.ccnw.ne.jp](mailto:douen@mc.ccnw.ne.jp)



リスクマネジメント委員会

①介護事故防止分科会

各施設で内容にはばらつきがあった介護事故防止・対応マニュアルを統一化し、全職員への配布を行いました。また、危険に気づく力を高めるべく、危険予知訓練（KYT）勉強会を春日井・豊田の各施設で実施し、全会場で370余名の職員が参加しました。

さらに、介護事故・ヒヤリハット件数の分析と施設長会への定期報告、事故につながるおそれがある設備不備の総チェック等に取り組む、事故防止に努めました。

②交通事故防止分科会

交通安全に対する意識を維持・向上させるべく、春日井・豊田の両地区において、多くの職員が出勤する早朝の時間帯に、交通事故経験者等による立哨運動をほぼ毎月行いました。また、春日井警察

署のご協力を得て、新規採用職員への交通安全研修を開催しました。当法人のこれらの活動に対し、安全運転管理の優良事業所として、春日井警察署及び春日井安全運転管理協議会会長から感謝状をいただきました。今年度は交通事故件数が前年度から26%減少しました。

③個人情報保護対策分科会

「個人情報ヒヤリハット事例」を全職員から募り、この事例をもとに「個人情報Q&A」を分科会メンバーで作成、配布し、職員への周知を図りました。

さらに、個人情報を含む文書の保存年限を明確化し、職員研修での講義等により、個人情報漏えいの未然防止に取り組みました。

④経営リスク対策分科会

居室サービス利用率向上のための分析及び検討を実施したところ、職員の確保・定着が経営リスク面で重要であるとの観点から、職員の待遇面の強化を目標に、

その基礎となる職制給与規程の改定に取り組みました。外部のコンサルタント会社とともに昨年5月から検討を開始し、本年3月21日の理事会で改正案が承認されました。

報告

「本格的な取り組み」  
「リスクマネジメント委員会」  
「業績実績を報告します。」

平成18年度中途入社職員  
平成19年度新規採用者  
事前研修会

事前研修会

3月2日（金）～3月30日（金）にかけて、新規採用者事前研修会を行いました。前半では、机上で現場指導者を講師とし、講義・演習を行いました。また、外部から講師を招いて接遇マナー研修などを行うて、基礎能力の充実を図りました。後半では、9日間に及ぶ配属予定施設での実習を行い、利用者さんと直接触れ合い、実践技術の習得を目的とする研修を行いました。

入浴介護の演技



春日井警察署の方を講師に招いて

研修プログラム

ステップ	研修名	概要
	オリエンテーション	施設長及び受講生の紹介、研修あいさつ、法人の概要等、研修計画説明
第1段階	法人組織・職務の心得	法人の採用（就業規則、給与規程、管理規定等）、個人情報等の保護、交通安全（春日井警察署）
	法人の施設概要	各施設の概要（施設、見学）
第2段階	実務の基礎	法人事務局・相談・介護の業務、利用者に対する基本姿勢
	実務の基礎(1)	施設巡回、健康と栄養管理、ケアプラン、ヒヤリハットと事故
	実務の基礎(2)	衛生管理、救急と衛生法
	接遇マナー（高齢者や障害者、水谷マミ氏）	
第3段階	介護の基礎(1)	認知の働き方、収入と支出のしくみ、権利の活用
	介護の基礎(2)	認知の働き方、収入と支出のしくみ、権利の活用
	介護の基礎	食事介護の基本、実技指導、その他の介護実習
第4段階	介護の基礎	排泄・移乗介護の基本、実技指導
	介護の基礎	入浴介護の基本、実技指導
	現場介護実習	配属予定施設での実習
	研修成果発表会	決意表明の発表、感想、感謝あいさつ

研修受講者の決意表明（抜粋）

春緑苑 介護職員 近藤友美

この研修中、介護をするうえで大切なことをたくさん見つけられました。基礎をしっかりと覚えてミスのないようにしていきます。また、利用者の立場に立って行動し、責任感のある介護士として頑張っていきます。

とよた苑 生活相談員 三岡崇正

研修会では法人の基本理念から介護の基本まで各講師の皆さんが分かりやすく説明していただいたのでとても勉強になりました。これからもしっかり勉強を続け、利用者の方々が安心して生活を送っていただけるように一生懸命努力していきます。



# 法人委員会

# 活動実績

平成18年4月から法人と  
を開始しました「リスクマ  
務改善委員会」の1年間の

## 業務改善委員会

### ①改善提案分科会

活動開始当初は、多くの提案が職員から寄せられ、その後、徐々に提案件数が減っていき、しくみが定着するまでには至っていません。

現場中心の分科会メンバーへの見直し、改善提案採用基準の見直し等により、職員が主体的に改善に取り組み風土を作り上げていきたいと考えております。

### ②ISO推進分科会

ご利用者の満足度向上等をめざ

### ③待遇改善分科会

誰もが働きやすい職場環境づくりを目指し、議論を重ねてきました。いくつかのテーマ案があがりましたが、その選定に苦労しました。

結果として、「新人が不安なく職場環境に順応し、良好な人間関係を構築するには何が必要なのか」をテーマに、職員の入職時における教育体制（OJT）の現場把握マニュアル作成の検討等を行いました。

し、特別養護老人ホーム第2春緑苑を対象に、昨年7月からISO9001認証取得の取り組みを開始して以来、専門コンサルタントの指導のもと12回の会議と、各部署での勉強会、業務改善を重ね、本年3月28日、29日にISO審査登録機関による本審査を無事終了しました。

審査結果は5月中旬に出る予定であり、その後、他施設へ順次展開していきます。

## 平成19年度 辞令交付式

4月20日(月)、春緑苑地域交流センターにおいて、辞令交付式を行いました。倉知会長から、昇格者、新規採用者に辞令が交付されました。ついで、倉知会長及び田中専務理事から激励の言葉があり、一同、気を引き締めました。

### 昇格職員紹介(4月1日付)

事務局次長(心得)

伊藤 芳英 (法人事務局)



緊張の面持ちで辞令を受ける職員

### 課長

大川原 家栄子

(春緑苑ヘルパーステーション)

部 築 尚幸

(特別養護老人ホームとよた苑)

田 口 裕之

(若草苑デイサービスセンター)

高 橋 政人

(知的障害者援護施設サンホーム豊田)

### 主任

余村 和子

(身体障害者更生援護施設春日苑)

大 竹 山美子

(知的障害者援護施設サンホーム豊田)

### 副主任

鬼 頭 淳子

(法人事務局)

長谷川 かよ子

(春緑苑短期入所施設)

水 野 雄也

(地域包括支援センター春緑苑)

田 中 靖久

(春緑苑ヘルパーステーション)

本 村 香織

(第2春緑苑デイサービスセンター)

多治見 朋子

(地域包括支援センター第2春緑苑)

山 口 景子

(養護老人ホーム若草苑)

榊 原 いづみ

(知的障害者援護施設サンホーム豊田)

中 村 圭介

(サンホーム豊田生活介護事業)



# 春緑苑

ご指導ありがとうございました

～詩吟クラブ～

永年詩吟クラブのご指導を頂いていた法人事務局の中山参事が3

月末で退職されるというこ

とで、3月5

日(月)参事ご

指導の最後の

詩吟クラブを

行いました"

クラブ終了

後、お礼の言

葉、詩吟二元

二の安西に使

いするを送る

ご利用者さん

が吟じ、感謝

の気持ちをお伝えし、そして最後

は中山参事からの挨拶で締めくく

りました。利用者さんもその言葉

に涙ぐまれ、別れを惜しまれてい

ました。

4月からは鈴木副施設長が詩吟

クラブ講師となります。



▲中山参事を囲み、皆さん熱心に勉強しています



▲いつもわかりやすく、丁寧に指導をしていただきました

今後健康に十分留意し、趣味に生きると共に、人生をエンジョイしてください。どうも永らくご指導くださりまして、ありがとうございました。  
利用者代表 竹内一豊

## 愛知県警察学校

### ボランティアに

### 大助かり

3月22日(木)、愛知県警察学校の学生さん44名がボランティア活動のために来苑され、春緑苑・春日苑それぞれ施設に分かれ、活動に入りました。

居室の掃除機・モップかけ、申椅子磨き、窓拭きなど午前中だけの短時間の活動でしたが、とても細かく丁寧に綺麗にしてくださいました。利用者さん、職員一同本当に大助かりでした。

ありがとうございました。

## 故人を偲びました

3月21日(水)春分の日、春の

彼岸法要

を行い、

開設以来

の物故者

333名のご

冥福を祈

り、故人

を偲びま

した。



▲居室がピカピカに!

## 4・5月の行事予定

- 4月18日(水) 不在者投票(市議選)
- 4月20日(金) 月例祭・花まつり
- 4月24日(水) 誕生会
- 4月27日(金) レントゲン撮影
- 4月28日(土) 保護者会総会・茶話会
- 5月4日(金) 端午の節句
- 5月12日(土) 家族ボランティア
- 5月26日(土) 開設記念祭

## 新任職員紹介(4月1日付)



(後列左から)  
 企画職員 近藤友美、西村竜典、  
 服部律俊、岡島圭佑  
 (前列左から)  
 企画職員 奥野美帆、植田あやか、  
 渡邊里奈、西尾麻未



地域包括支援センター

4月の福祉講座の予定

「認知症とどう向き合うか」

【日時】 4月27日(金)

14時～15時30分

【講師】 グループホーム春緑苑

副主任介護士

丹羽 宏

【会場】 東部市民センター

第2集会室

【定員】 45名

(定員になり次第申込み締め切りになります)

【参加費】 無料

【申し込み先】

電話 (0568)88-8303

FAX (0568)88-7938

メール chikihokatsu@douen.or.jp

担当 水野、太田、加藤、寺井



▲「巻ですね、ホカホカ陽気の春緑苑」の句がこの新聞に掲載されました！

デイサービス

デイリースビス新聞

「ご縁ですよ」



3月1日(木)、デイサービスの新聞「ご縁ですよ」が創刊されました。利用者さんとの輪をつなぐ

居宅介護支援事業所

実務研修指導に協力

本年度も福祉人材センターからの依頼を受け、介護支援専門員実務研修受講者の講師を務めさせていただきました。

昨年4月の法改正に伴い、介護支援専門員も介護予防のケアプランの作成が必要となり、今回から介護予防のカリキュラムが1日増えました。そのカリキュラムでは、まず介護予防ケアプランについて

「縁」を大切に、この名前を付けました。皆様に喜ばれる新聞を作っていきます。第1号にはデイサービスの紹介をはじめ、利用者さんの一句も掲載しました。

講義を行い、次に、一つの事例をもとにグループワークでケアプランを作成しました。介護予防では利用者本人のセルフケアがより重要とされていることから、本人が今後の状態悪化を招かないようにするためにどのような生活をしてもらえばいいのか、グループ内で検討してもらいました。介護予防様式のケアプラン作成に少し困難気味なところもみられましたが、皆さん真剣に研修を受講されました。

受講された方については、長い時間をかけて取得した資格であり、やりがいのある仕事でもあるので、ぜひ実務に就いて頑張ってもらいたいと思います。

福祉用具貸与事業所

床ずれ予防

床ずれは、人によっては、夜のわずかな時間にできてしまうこともあります。

床ずれを防ぐには、オムツの交換時や食事の前後など2〜3時間ごとに体位を変えるのが効果的ですが、ひんぱんに体位交換できない時は、尾てい骨やかかとなどにクッションや予防具をあて圧迫を受けないよう工夫しましょう。床

ヘルパーステーション

口腔ケア研修で学んで

虫歯や歯周病を予防するのに大切なのは、「歯みがき」です。

歯みがきは、単に口の中を清潔にするだけでなく、肺炎や心臓病などの病気を未然に防ぐ大切な手段といわれています。また、電動歯ブラシを使って磨くほうが、手で磨くよりも磨き残しが少ないそうです。

毎食後、寝る前の歯みがきがいそいそですが、利用者さんの負担にならないよう、1日1回は、快適に歯みがきできるように努めたいと思います。



▲様々な形状の床ずれ予防用品



シヨートステイ

牛け花で話にも花が咲く

お彼岸の日、利用者の皆さんにお花を生けていただきました。



▲お花と向き合う利用者さん

皆さんに生け花の経験を尋ねたところ、「若い頃に少しね。」と照れながらおっしゃっていました。しかし、「もう少し切った方がいいわね。」「この花はこの位置にした方がいいかしら。」とお互いに話しながら、和気あいあいと作品を仕上げていただきました。さつそく、生けていただいたお花を談話室に飾ったところ、「きれいなねえ。」と言って皆さん眺めておられました。

グループホーム

語りあった家族交流会

3月17日(土)、家族交流会を開催しました。

2部にわかれ、第1部は、7家族8名の方に出席いただき、はじめに、施設長から「最近の高齢者福祉の動向」という内容での話で、当法人の新事業の報告などがありました。その後、質疑応答並びに

訪問入浴サービス

安心、安全な入浴方法

訪問入浴が自宅の入浴方法と大きく異なる点は臥床したままでも入浴できることです。

重度の寝たきりの方はもちろん、胃ろうの方、気管切開している方、四肢に傷がある方、全身浮腫のある方、IVH(中心静脈カテーテル)挿入している方も入浴することが出来ます。(バイタルが安定している場合)自宅のベッドの横で入浴できるので、利用者さんの休への負担も最小限となります。何より、ご家族の方も見守りながら入浴できるので、とても安心。お気軽にご相談ください。

意見交換会を ▲楽しい家族との交流行いました。



第2部は、第1・第2のグループホームに分かれて、利用者さんが中心で作ったおやつを食べながら、利用者家族、職員との交流を図りました。そのおやつには、第1はせんざい、第2はパンディングを作り、皆さんで「おいしいね。」と言いなながら、和気あいあいと食べました。

ケアハウス香縁苑

おこしものを作りました!



▲生地をこねる手つきも慣れてきました。思わず笑みが...

3月1日(木)に皆さんで色鮮やかなおこしものを作りました。ひな段にお供えし、おいしくいただきました。

坂下公民館まつりで熱唱

練習の成果が見事発揮されました。

第25回坂下公民館まつり



▲みなさん、各々の得意分野を派かし、分担して手早く作りあげていきます



▲各々の個性溢れる仕りに

4・5月の行事予定

- 4月20日(金) 花まつり
- 4月中旬 この指とまれ!
- 4月24日(火) おたのしみ会食
- 5月4日(金) 端午の節句
- 5月中旬 茶話会



# 第2春緑苑

## 松原中学校の生徒さん 「ありがとう」

3月16日(金)、第2春緑苑に初めて中学生が10名福祉体験で来苑しました。利用者の皆さんは孫くらいの生徒さんを見て、「かわいいわね、本当にかわいいわね」、「松原中学から見えたの?ありがとう。」と、目を細めてとても喜んでいました。

各ユニットでは、生徒さんと一緒にカレンター作りをされたり、掃除をされたりする中で会話も弾んでいました。

午後には、中学生の皆さんによるリコーダー演奏や、「ふるさと」を一緒に歌い、楽しいひとときを過ごしました。



▲中学生の皆さんと大きな声で歌を歌い「あー楽しかったよ」



▲リコーダーの演奏に聞き入りました

## 職員リレー随想 黎明期の終えん、 躍動期への飛翔

施設長 田中 孝

第2春緑苑は、昨年3月の開設以来、2年目を迎え、現在7つの事業所で総計90余名の職員が就労しています。「笑顔・挨拶・思いやり(想)」をモットーに、利用者及び家族の皆様とのコラボレーションにより「喜(よろこ)を共有」し、「優しくしかも楽しい」施設作りに取り組んで参りました。さらに、昨年夏から取り組んで参りました「S.O.9001(品質作込みシステム)」の認証取得への対応も、ここに来てようやく一段落しました。しかしながら、これからは本当の意味での正念場です。当施設の

## おいしい昼食に、 「緊張したあ〜!」演芸会

「はなさかじいさん」の劇に他の利用者さんも興味津々



▶20人の利用者さんが協力して演じていただきました



全職員がベクトルを合わせ、一丸となって「ユニットケアとは何か」に真摯に取り組み、地域社会の中で新しい価値を創造し、文化の発信基地としての役割を担う施設創りをすることが究極の目的です。そのためには私たち自身が絶えず成長してゆかねばならないし、その中で生まれた知(個性)をより一層育むことが重要です。そういつた意味合いにおいて創業の時期をここで終えんさせ、今後はさらに一步を踏みだし、他の人の進まない道を選ぶ勇氣と、未知の世界に挑戦する氣概を持って事に当たらなければならぬと確信します。

躍動期に入ったことを機に、これから当施設職員による随想をリリースに纏ってみるの一側です。こうご期待。

## 大切に育てます!!

3月7日(水)に三菱東京UFJ銀行様から寄贈していただいたサンカの苗、170本を当苑の周りいっぱい植えていただきました。当苑のフェンス沿いを散歩された利用者さんは「まあ、こんなにたくさん。」と植えられた苗の多さに驚いておられました。春の光を浴びて、きれいなきみどり色をした葉もキラキラと輝いています。これから大切に育てていきます。



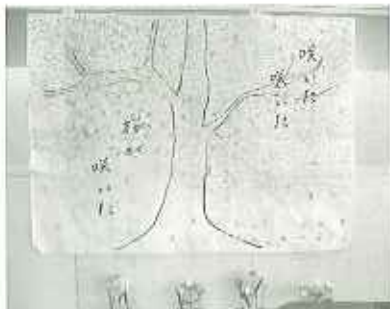


### デイサービス

#### もうすぐ春ですわね♪

一足先に、デイサービスセンターに春がやって参りました。指先一つで仕上げた満開の桜、折り紙を使って本物そっくりに作ったチューリップ、きれいな花を生けた手作りの花瓶は、利用者さんの手によって作られたものです。たくさんの春が皆さんの心を落ち着かせます。

皆様のおかげで、当デイサービスセンターも開設して1年が経とうとしています。新しい年度からは、今まで以上にきやかなデイサービスにしていきたいと思います。



▶デイサービスの桜はもう満開



▶色とりどりの花がデイサービスを彩り回っています

### 地域包括支援センター

#### 地域とのネットワーク強化

地域包括支援センターは、地域のネットワークを構築することも求められており、地域での課題や住民からの不安の声を日常の業務の中で多く聞くことを心がけています。例えば、自宅にて認知症高齢者を抱える家族の方から、目を離した間に行方がわからなくなったりどうしたらいいのだろうか？と不安を訴える声がありました。実際に認知症高齢者が自宅からいなくなることは少なくありません。



◀利用者の皆さんが咲かしたチューリップ



▲地域をどう支えていくか話し合い

このような課題は家族だけの問題ではなく、その地域に住む誰もが関係する問題となる可能性をもっています。

そこで、3月30日(金)、その様な場面を想定して地域の取り組みで防止・対応ができないかどうかを第2春緑苑の地域交流センターにて、ケアマネジャー・サービス事業所・民生委員などの方々にお集まりいただき、提案という形で話し合いの場を設けました。

来年度も引き続き地域の関係者の方々とつながりを強化して「安心して住み続けることのできるまち」にしていきたいと考えています。

### 4・5月の行事予定

- 4月16日(月) 理美容
- 4月17日(火) 誕生会
- 4月21日(土) 保護者会総会

### 居宅介護支援事業所

#### 信頼され、愛される ケアマネジャーとして

新海美知恵

昨年3月に第2春緑苑の特養で働き始めて約1年、2月から介護支援専門員として仕事をすることになりました。

介護の仕事を始めるといって10年。ケアマネジャーの仕事に自信のない私でしたが、友人のケアマネジャーに「あなたはいくつかの現場で仕事をしてきているので、説得力がある。良いケアマネジャーにきつとなれる」と励まされ、心新たにしました。利用者さんに信頼される、愛されるケアマネジャーを目標に努力を重ねていこうと思います。

### 新任職員紹介(4月1日付)



左から 新美恵子、新海美知恵、黒澤利奈



全務 小田 誠



事務 河南 薫  
居宅介護支援センター



# 春日苑

## 会場全体で楽しんだ ひなまつり会

3月2日(金)、桃の節句が行われ、踊りや劇など3組の出し物を楽しみました。

今回は、皆で会

を盛りあげていきたいと考えて、

利用者さんにもたくさん参加して

いただきました。

の時に、皆さんでかけ声をかけて

劇では、利用者さんに泥棒の居場所を教えて

もらったり、配られたうちわで応援

していただきました。

最後は職員全員で「よさこい」を踊り、利用者さんも一緒に踊りました。



▲ひなまつりにちなんだメニュー ▲泥棒は誰だ!? ▲有志の後は、甘酒を飲みました

## 新任職員紹介(4月1日付)



左列から 林 邦和、中列から 伊藤 泉、右列から 近藤 亮彦、和合 清生、田所 信吾、住岡 亜美、美由希生活支援センター、杉本ひと美、日比野 忠実、太田 千晶

## 4・5月の行事予定

- 4月21日(土) 保護者総会
- 5月5日(水) 健康診断
- 5月4日(金) 端午の節句

## 障害者生活支援センターだより 障害福祉計画の策定

3月14日(水)に春日井市障害福祉計画講演会が開かれました。障害福祉計画は、「障害者自立支援法に基づき、国の基本指針にそって、障害福祉サービス、相談支援及び地域生活支援事業の提供体制の確保に関する計画を定める」ものです。春日井市においてもアンケートや一般への意見聴取などを重ね、協議会で練り上げられ

## ワーカー鷹采

### 開設して1ヶ月 楽しく作業を

鷹采福祉作業所から引き続き、ワーカー鷹采として、3月1日(木)に事業を開始して、早1ヶ月がたちました。利用者の皆さんも施設に慣れ、作業も従来のように行っています。今までより少し広いスペースなので、皆さん動きやすく、作業もはかどり、楽しく作業をされています。新しい事業の「パン」の販売を行うことになりました。皆さん



◀ネジを教える作業中



▲皆さんまじめで間違いも少ないです!



◀お菓子の箱折り作業  
皆さんベテランです

やる気十分で、販売するためのメニューカードを作る人、袋詰めをする人、販売を担当する人など、少しずつパンの販売に多くの利用者さんが参加していますので期待してください。

策定されました。計画の期間は平成18年度から20年度までの3年間を第一期とし、その後の3年間を第二期としています。平成23年度を目標年度として、福祉施設の入所者の地域生活への移行、入院中の精神障害者の地域生活への移行、福祉施設から一般就労への移行などの項目について、数値目標が設定されました。

### 【お問い合わせ】

電話 (0568) 88-7637  
ファックス (0568) 88-5704  
Eメール kasugaien@mc.cnw.ne.jp  
担当 渡辺・住岡まで

## 新任職員紹介 (4月1日付)



生活支援 塚本 聡美



# とよた苑

迫力ある演奏に感動!!

3月17日(土)、こじまキャンパスの皆様が楽器演奏の慰問に来てくださいました。

「ミツキーマウスマーチ」、「リノゴの唄」、「水戸黄門のテーマ」の迫力ある演奏に感動!!思わずリズムに合わせて体が動いてしまうほどでした。

演奏の後には、こじまキャンパスの皆様と一緒に、チームに分かれて「ポール遊び」を楽しみました。体全体を使って音楽を楽しんだ午後のひとつでした。



▶「ポール遊び」チーム、皆で協力して一音になるぞ!

総勢23人の迫力ある演奏です▶

## 春のお彼岸

3月21日(水)、蓮生寺の二浦住職にお越しいただき、とよた苑・ケアハウス豊田開設以後お亡くなりになられた233名の方のご冥福を、遺族・利用者の皆さんとともに祈りいたしました。



## 新任職員紹介(4月1日付)



(左列左から) 宅理(兼) 田中美由紀、生活相談員 三岡 崇正、  
介護職員 柴田 泰子、別所 知高、塚田 仁美、永井 哲、中野 泰宗  
(2列左から) 介護職員 永田 年樹、市川 明菜、林 英里、小池 清 環、  
高瀬 裕行、八百取 千恵、三浦 裕也、鈴木 大地  
(3列左から) 介護職員 佐々木 千加子(伊予バス)、三浦 孝江(伊予バス)、  
宇野 恵 介(伊予バス)、小高 穂城のるみ(伊予バス)、  
豊田グループ副社長 吉田 健一(副理)

## 地域包括支援センター

### 悪質商法にあわないための5か条

最近、悪質商法の被害にあわれた方が急増しています。

1. いちなものはいりません!
2. うますぎるもうけ話に注意する。
3. 契約する前に契約書をよく読む。
4. 家族や友人など、信頼できる人に相談する。
5. 勧誘されても落ち着いてよく考える。

おかしかったら、すぐに県民生活プラザなどに相談しましょう!

▲威かな雰囲気の中、皆さんが異様をお祈りしました。



## 「居宅介護支援事業所」

### チームワークで支援

要介護のAさんは、脳出血の後遺症のため、意思の疎通が難しく、食事も胃まで入っていないチームで取っています。また、日に数回吸引、オムツ交換、体位交換を行って生活されています。在宅生活を始めて4年半が経っていますが、介護者さんは、あと5年は介護したい」と意欲的です。

私たちの業務は、そんな利用者さん、介護者さんが安心して生活できるよう援助することです。医療・福祉関係者などと連携を密にし、チームで在宅生活を支援していきます。



福祉用具貸与事業所

外出のお供もおしゃれに

暖かくなり、外出の機会が増える季節がやって来ました。ちよつとしたお散歩やお買い物に出かける時、ふらつきや転倒の予防に杖の使用も有効です。最近では、太さ・重さ・色柄・素材など種類も様々です。4月29日(日)に行われる開設記念祭でも、いくつが展示する予定です。足を運んでいただいた際には、ぜひ一度ご覧下さい。



ヘルパーズデーシヨツ

生涯現役!

Iさんは90才。朝食準備などの生活援助に毎日ヘルパーが何っています。体調が安定したこともあり、手芸好きも手伝って、ベッドに腰掛けてできる編み物を始めました。毛糸玉一玉でできるプチマフラーをすでに十五本程作り、次に腕力パーも完成。今度は帽子を編みたいと意欲的です。「編み目もしっかりしてきたでしょ。間違えなくなつたよ!」と少し白慢気なIさんは、会話にも幅ができ「生涯現役!」と前向きに暮らしていらつしゃいます。

ケアハウス豊田

温泉に「ござらっせ」



▲10名の方が参加しました。「いいお湯だったよ」

梅とむくろじ



▲満開の桜を背景に

2月28日(水)、午前、午後の2班に分かれて、見事に咲き誇っていた梅の花を見に平芝公園に出掛けました。利用者さんははのかに香る梅の花に、そおと顔を近づけていました。毎年、梅の収穫に参加されている方は、昨年収穫した木を見つけて、「今年もたくさん実をつ

3月20日(火)、愛知郡長久手町にある、長久手温泉「ござらっせ」へ、温泉ツアーに出掛けました。この温泉には、上種類のお風呂があり、珍しい洞窟風呂にも入ることができました。利用者さんは、いつもはカラスの行水で入っているけど、今日は1時間も粘って入ってきたよ。気持ち良かったよ」と、リフレッシュされていました。

また、温泉だけでなく、外食を楽しみに参加された方もあり、普段なかなか召し上がることができない「カキフライ定食」が大好評でした。温泉、食事、買い物と、皆さんそれぞれ有意義に過ごされ

けてね。」と、いとおしそうに眺めておられました。



▲いい香りね〜

帰りに、むくろじ(無患子)の実を腰をかかめて探される姿もみられました。むくろじは石けんの代用になるので、次は昔を思い出しながら石けん作り挑戦していた。だごうと考えています。



▶写真クラブの腕のみせどころ

た後、帰りには、「トヨタ博物館」へ立ち寄ってクラシックカーにも乗り、ゆつたりとお茶を楽しみました。



▶時代を感じさせる車がたくさん

最高の惣菜!!

切り干し大根を作るため、ケアハウスの畑で収穫し、十中に保存しておいた大根を細切りにし、何日も根気よく天日干しをしました。時には風に飛ばされもりましたが、夕食の一品に添えることができました。「大根本来の味があり、味加減もよかったです。」「もっと食べたかったなあ。」「この切り方は自分が切った大根だ!」、来年はもっと切干を作ろうね。」など、皆さんに喜んでいただきました。



▲初めてのせんざり大根作り「今年の大根は1個にできた。おいしいよ〜」



とよた苑デイサービス

松平高校合唱部慰問

3月23日(金)、近くにある公立松平高校合唱部の方が慰問に来てくださいました。

この日のために卒業したばかりの3年生も参加され、総勢11名で素敵な歌声を聞かせてくださいました。「荒城の月」、「ふるさと」、「海」など、皆さん馴染みの歌をはじめ、歌謡曲なども盛りだくさんの内容で披露して



▲松平高校合唱部の皆さんです。初めて来てくださいました。また来てくださいね!

くださったり、利用者さんからは「若い子の歌声が聞けてよかった!」、「上手だったね〜。」と喜びの声がかげられました。

卯月句会作品

桜花や命一杯かけて咲く  
摘草を孫と軍手を片手ずつ

寺澤 和昭さん

庭の木に光はじけて春が来た  
送迎のバスで楽しい桜かな

那須 源吉さん

痛み上がり日に向くサッシ戸

開け放ち

春の陽光部屋に満たしぬ

神谷みのるさん

とよた苑訪問入浴

入浴中のマッサージ

訪問入浴で利用者さんが一番気持ち良い時間はやはり湯船に使用している時間です。多くの利用者さんが眠ってしまうくらいです。

利用者さんがリラククスされているこの時間に、血行を良くするためと拘縮のある方の進行防止のために、看護師が手足のマッサージを行っています。数分間のマッサージですが、利用者さんにはとても好評です。

「こりゃあ極楽、極楽。」とそんな声が私たちの励みになります。

東山デイサービス

1日1回関節伸ばし!



▲「くら〜!」無理しない程度に伸ばします

知っていますか?

身体の固くなってきた関節などを1日1回、限界(痛みを感じる程度)まで広げると、それ以上関節が固くなりにくくなるということとを...

東山デイサービスでは、リハビリ中に取り入れて拘縮予防に取り組んでいます!

総合学習修了



3月12日(月)、15日(木)、16日(金)の3日間、豊田市立東山小学校4年生の児童が総合学習の一環



▲「三位一体とは…」

▼1年間で成長した!皆さんのリーダー演劇



として今年最後の訪問に訪れました。

劇や歌、ゲームなどの交流の後に、施設長が「シャムロック島」の話をして、皆さんに「三位一体」(個人・仲間・社会)の大切さを教えました。真剣な眼差しで聞いている児童を見て、「成長したなあ!」と、利用者さんは声を揃えて驚いていました。

来年度の新4年生の訪問を心待ちにしています。



### 養護若草苑

#### 卒業おめでとう

3月27日(火)、豊田市立崇化館 中学校麦の会の生徒さん17名と先生2名が来苑されました。卒業した3年生の方もたくさん来てくださり、利用者さんとふれあいました。

6チームに分かれ、「ペットボトルのふたを何秒で穴に落とせるか」と「ボールを投げて止まったところの数字で点数を競い合う」2つのゲームを楽しみ、どちらも

#### 覚えてね!! プラスチックゴミの分け方



▲楽しいね



▶ラベルは  
はがさないで

▶物の袋はどこに捨てるか? マークはあるかな?

4月1日から豊田市ではプラスチックゴミの仕分けが始まりました。今までプラスチックはごみでした。しかし、4月1日からは資源になりました。毎日の生活の中で若草苑でもプラスチックはたくさん出ます。利用者さんにも仕分けの勉強をしてもらいました。

「これはどっち? ビニール袋でプラスチックだな!!」、「コーヒール瓶は? かたはプラスチック、ラベルは紙、瓶はリサイクルだな!!」とお互いに確認しあいながら、仕分けました。大変ですが、「環境保護、資源を大切に」という気持ちで仕分けしていきましょう。



▲ジョーカーが止まったら5点だよ



▲あと2個、あと1回がんばれ! がんばれ!

大変盛りあがりでした。最後に生徒さんから利用者さんのストラップをいただき、利用者さんも生徒さんへ手作りの写真立てを贈り卒業生の皆さんとの別れを惜しみました。

### 若草苑デイサービス

#### 昔を思い出した太鼓

3月3日(土)、早川流やぐら太鼓を披露していただきました。



▶激しいリズムはききた。

「太鼓を叩く姿が」かっこよかったです。普段なかなか体験できない貴重な時間経過することができました。

#### お腹いっぱい満足 いちご狩り

3月27日(火)、豊田市農ライフ創世センターにて、いちご狩りを行いました。



▶たくさんのおいしいいちごを食べました

真っ赤に色付いたいちごが両脇にたくさん実っていて、皆さんお腹いっぱいおいしく食べていました。

#### 皆で大笑い

3月15日(木)、当センターにギター演奏のボランティアさんが来苑され、ギターの伴奏に合わせて皆さんと歌を歌ったり、ことば遊びをしたりしました。

お馴染みの曲から、利用者の皆さんのリクエスト曲まで即興で演奏され、皆さん大きな声で歌いました。利用者の皆さんからは、「知っている曲がたくさんあってよかったよ。」「ことば遊びが面白かったわ。」などの声があふれ、楽しい時間を過ごすことができました。



▲皆さんリズムに合わせて

▶素晴らしい演奏にうっとり



# サンホーム豊田

## 好きなメニューは何かな？ 喫茶外出



▲ケキは皆さん大好物

3月16日(金)に利用者さん4名、職員2名で、喫茶外出としてショッピングセンターへ出掛けました。店内へ入ると皆さんメニューを手にとったり、ショーケースの中のケーキを見たりして、自分の食べたい物を選びました。注文した物が届くと皆さん嬉しそうに夢中になって食べていました。笑顔も多く見られ、気分転換を図る良い外出になりました。

## にぎやか！交流会

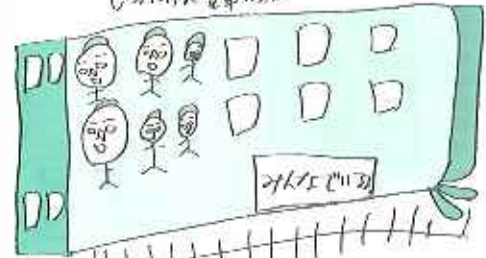
3月10日(土)に美甲中学校の生徒さん達と交流会を行いました。最初、利用者さんは緊張して何を話して良いかわからない様子でしたが、自己紹介やゲームなどを通じて、積極的に生徒さんと接することができました。ゲーム終了後も利用者さんは生徒さんにたくさん質問しており、楽しい話し声のやまににぎやかな交流会となりました。



▶お互いに自己紹介  
「上手に紹介できたかなあ？」

## 利用者さんの絵

じやんけん電車の絵



219号印楅神正教

## 4・5月の行事予定

- 4月15日(月) シヤスコ高橋店エイローシート贈呈式
- 4月29日(木) 記念祭
- 5月2日(水) 誕生会
- 5月4日(金) 端午の節句

## 新任職員紹介(4月1日付)



生活支援 水野貴史、福井基生、柳澤麻美

## 生活介護事業

### クラブ活動ご紹介

### 革細工編

「何を作ろう。」「強く叩きすぎた。」「できないよ。」「トントントンカチカチ音が室内に響きます。色々な声や音が室内に響きます。トンカチと格闘されている方、ヒモ通しに悩んでいらっしやる方など、いろいろな姿が見られます。週に1度の活動のため、作品が出来上がるまでには時間がかかりますが、完成した時の皆さんの笑顔はピカピカです。ただいま革細工クラブでは、開設記念祭への出品にむけて奮闘中です。どんな作品になるかは…お楽しみです。



▲一生懸命作った革細工の作品。こんなに上手にできました！









# 楽しい おいしい ひなまつり

3月の桃の節句には、各施設でひな人形を飾り、華やかにひなまつり会を行いました。演芸会や慰問、会食など、様々なことが行われ、皆さんの笑顔があふれる会になりました。

## 第2春緑苑



▲ラ・ブラタの皆様による楽器演奏。「みかんの花吹く丘」などを演奏していただきました

▲奥村博男様による歌謡コンサート  
歳時祭の賑りを披露していただきました



## 特養春緑苑



▲ひなまつりの美味しい会食♪

## 春日苑



▲盛り上がった演芸会  
「ヘレン・シーラー」の劇は  
利用者さん大笑い



▲園児たちの劇や歌などの  
元気な姿に皆さん大立ち上りました

## とよた苑



## サンホーム豊田



▲甘酒とおやつをいただきました♪

▲お姉様の絵を描いたかこへ向かって玉入れゲーム!

### 編集後記

今年はずいぶん暖かいです。桜の開花が例年よりも早くなるというニュースが流れましたが、結局データー入力ミスが発覚、予想は大きくはずれました。暖冬にうかれて、現地に行かずデーター予想した結果です。  
私達の仕事は利用者さんの顔を見ずには考えられません。改めてデーターやマニュアル通りではなく、心の通ったサービスが必要だと感じたニュースでした。新年度を迎え、新人職員とともに新たな気持ちで頑張っていきます。

この広報紙に掲載した個人情報は、二本入らしくはご家族の同意を得て掲載しています。